

# 第2回 鹿児島空港駐車場の混雑緩和等に向けた検討会

- (1) 夏季多客期の利用状況と混雑緩和対策
- (2) ホームページの改修、周辺設備の整備
- (3) 短期的な取組に係る進捗状況
- (4) 鹿児島空港駐車場の利用実態データの整理



# 夏季多客期(8/8~8/17)における利用実績について

- ▼多客期期間の乗降客数速報値では、前年度同期間比約101%
- ▼前年度同期間比から満車日数は+2日、駐車場利用台数(精算ベース)で約106%
- ▼弊社社有地(臨時駐車場)を利用した車両は、前年度同期間比約71%

2025年度	8/8 (金)	8/9 (土)	8/10 (日)	8/11 (月祝)	8/12 (火)	8/13 (水)	8/14 (木)	8/15 (金)	8/16 (土)	8/17 (目)	合計
空港駐車場 満車日	_	0	0	0	_	0	0	0	_	-	6日

2024年度	8/9 (金)	8/10 (土)	8/11 (日)	8/12 (月祝)	8/13 (火)	8/14 (水)	8/15 (木)	8/16 (金)	8/17 (土)	8/18 (日)	合計
空港駐車場 満車日	_	0	0	0	0	_	_	_	_	_	4日



#### (参照: Googlemap)

#### 混雑緩和対策

従業員用駐車場の一部(50台分を、一般車両に開放することで、一時的に受入可能台数を拡大した

# 夏季多客期(8/8~8/17)における混雑緩和対策

空港駐車場の混雑がピークとなる8/8(金)~17(日)は、空港駐車場等の警備員を増強し、計144名 (1日あたり最大17名)を配置することで、空港駐車場の混雑緩和に努めるとともに、周辺の民間駐車場 の状況を踏まえて社有地(臨時駐車場)への誘導を実施。



# 夏季多客期(8/8~8/17)における混雑緩和対策



### 社有地の再整備状況

社有地(臨時駐車場)においては、既存の第1区画及び第2区画の再整備が2025年5月に完了したことで、約1,500台枠(その他社有地除く)を確保。

	~1/20	~3/31	~4/30	~5/31	工事後
鹿児島空港駐車場	1,635	1,635	1,634	1,634	1,634
(鹿児島空港駐車場)	1,585	1,585	1,584	1,584	1,584
(月極駐車場開放枠)	50	50	50	50	50
社有地(臨時駐車場等)	1,441	762	1,067	1,381	1,645
空港ビル管理駐車場 全体	3,076	2,397	2,701	3,015	3,279
民間駐車場	2,630	2,930	2,930	2,930	2,930
空港周辺駐車場 全体	5,706	5,327	5,631	5,945	6,209

<sup>※2025</sup>年2月末に、民間駐車場(約300台)が営業開始

<sup>※</sup>民間駐車場台数については鹿児島空港ビルディング㈱調べ

# 空港ホームページの情報拡充について



- ▼空き台数及び直近1時間の出庫台数について、混雑状況の詳細を表示(2025年8月8日~)
- ▼空港周辺の民間駐車場マップを掲載(2025年8月8日~)





## 社有地 (臨時駐車場) 周辺の整備



### 外灯の設置

臨時駐車場までの道路上には照明設備等が少なく、一般旅客の利用にあたっては夜間の照度が課題であったが、防犯・安全面を考慮し外灯7基を設置をしたことで安全性が高まった(2025年6月末竣工)





※鹿児島空港給油施設株式会社の 敷地内に外灯7基を設置





### 短期的な取組に係る進捗状況



### 旋回監視カメラの増設

車両の場内滞留時間を短縮し、混雑緩和を図るため監視カメラの増設を計画。駐車場をより広範囲で 監視、空き枠を駐車場管理事務所から判別することで警備員による円滑な誘導を図ることを目的に、場 内4台及び場外2台の監視カメラを増設予定(2025年度中の整備予定)



既存旋回監視カメラの位置

增設予定位置

映像分岐を行う既存カメラの位置

(参照: Googlemap)



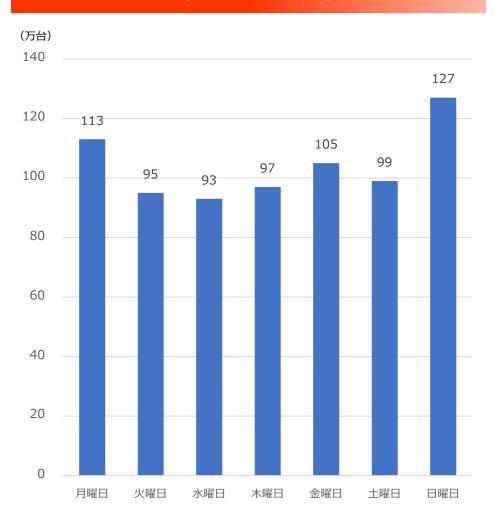


※監視カメラ映像のイメージ

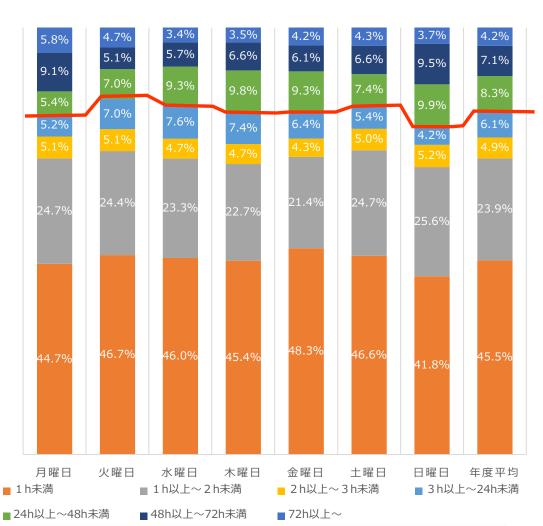
### 鹿児島空港駐車場 利用実態データ (曜日別)

- ▼曜日別出場台数では、日・月曜日が多い傾向
- ▼時間帯別出場台数比率では、日曜日に24時間以上利用の出場が最も多い傾向

### 2024年度 曜日別出庫台数



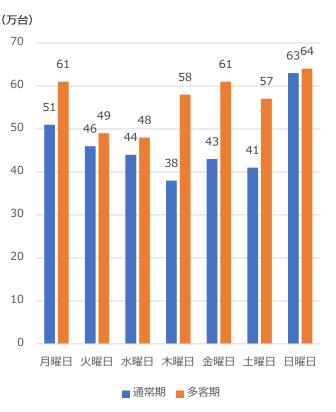
### 2024年度 曜日別時間別出場台数比率



# 鹿児島空港駐車場 利用実態データ (曜日別・シーズン別)

- ▼曜日別出場台数における通常期(181日間)、多客期シーズン期間(184日間)では傾向に大きな差がない
- ▼多客期は通常期と比較して、送迎利用(2時間以内)が多い傾向

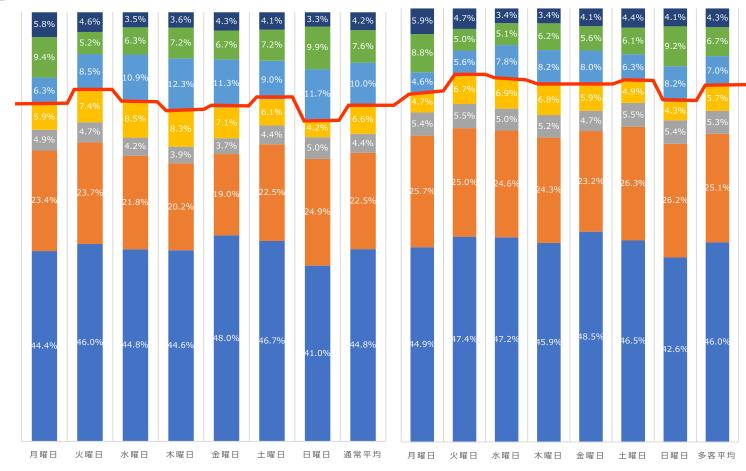
#### 2024年度 曜日別出庫台数 (通常期・多客期)



※多客期とは、GW、夏休み、秋の行楽シーズン、 年末年始、春休みを想定した期間を指す

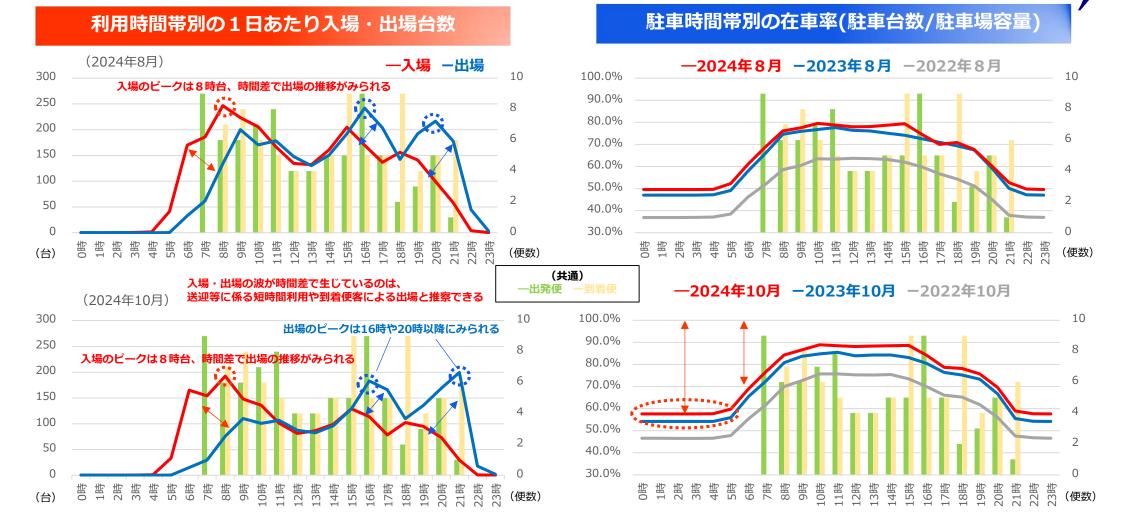
### (通常期) 曜日別時間別出場台数比率

#### (多客期) 曜日別時間別出場台数比率



■ 24h以上~48h未満 ■ 48h以上~72h未満 ■ 72h以上~

### 混雑発生のメカニズム



- ▼利用時間帯別(8月・10月)においては傾向は同じである。また、在車率においても3か年の傾向に大きな差がない。
- ▼2024年10月における在車率は、深夜帯で約60%の在車率(8月は約40%)
- ▼2024年10月においては、6時時点で受入余地が残り30%となっているなか、利用時間帯別の入場ピークを8時台に迎えるため、以降の時間は在車率が高止まりし、満車(受入余地が少ない)傾向がみられる。また、8月も同じ傾向がみられる。